

事例⑥

自閉症・情緒学級の児童に「これならできそう！」と言わせたい！

授業づくりの視点

◆経験の浅い先生たち、学級でこんなこと感じていませんか？

- 自分のやりたいことを優先し、学習活動へ気持ちを切り替えられない子どもが、どうしたら授業に前向きに取り組めるようになるか分からない。

- ② 主体的な学びを促す
「分かって動ける」授業づくり

ファーストステップ！

◆例えば、「算数科」で、こんなことからはじめてみましょう。

授業のパターン化

5の段から1の段までの授業の流れを統一することで、子どもの「できなかったらどうしよう？」の不安を「これならできそう！」に変えましょう。

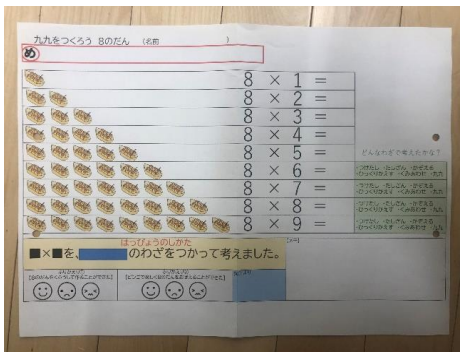
- ☐ 算数科「九九を作ろう」
- ☐ 小学校
- ☐ 特別支援学級（自閉症・情緒障がい学級）

本時の目標

- ・これまで学習した「かけざんのわざ」を使って、8の段の答えを考えることができる。

ファーストステップ②

- ～パターン化その2～
「掲示物やワークシートを工夫しましょう」
- ・パッと目を引く**掲示物**で**子どもの興味を引き出します**。



ワークシート

	学習活動	手立て／留意点
導入	○ 学習の流れを確認する。 ○ めあてを把握する。	○ 黒板に学習の流れを掲示し、活動内容を確認する。
展開	○ 8の段の途中まで、教師と一緒に答えを考える。 ○ 8×5以降を、たしざんひっくりかえすなどの「かけざんのわざ」を使って、九九の答えをワークシートに記入する。 ○ どんな「かけざんのわざ」を使って考えたか発表する。	○ 「8が■こ分で$8 \times \blacksquare$」を繰り返し唱えながら、数量の關係に着目できるようにする。 ○ 書く活動が苦手な子どものワークシートは、なぞり書きの部分を入れたり、穴埋めにしたたりし、書く量を調整する。
終末	○ 8の段を使ったビンゴゲームをする。	

ファーストステップ①

～パターン化その1～
「学習の流れを提示しましょう」
・「**ここまでやったら終わり！**」が**分かり**、安心して学習に取り組めるようにします。

ファーストステップ③

～パターン化その3～
「かけざんのわざを活用しましょう」
・繰り返し学習したことを問題**を解くヒント**として示し、「**これならできそう！**」と思えるようにします。

ファーストステップ④

～パターン化その4～
「授業の最後は全員が参加できるようにしましょう」
・**意欲的に取り組める学習活動を最後に設定し**、児童のやる気を継続させます。

たしざん	ひっくりかえす
つけたし	くみあわせ
かぞえる	九九

かけざんのわざ